

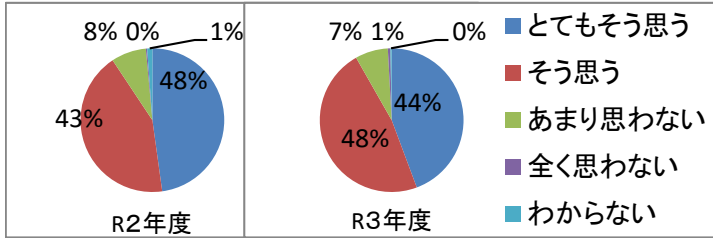
令和3年度 学校教育に関するアンケート結果

令和4年 3月 4日
西東京市立本町小学校
校長 中村 千佳子

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。「学校教育に関するアンケート」の集計及び分析をいたしましたので、御報告いたします。お寄せいただきました回答は、「学校評価」や「授業改善推進プラン」等の資料として活用し、来年度の教育活動に反映させてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

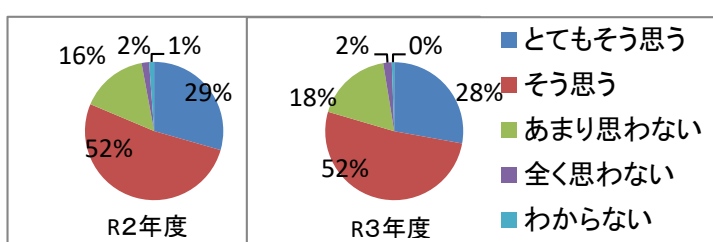
<児童の様子>

【質問1】 お子さんは楽しく学校に通っていますか。



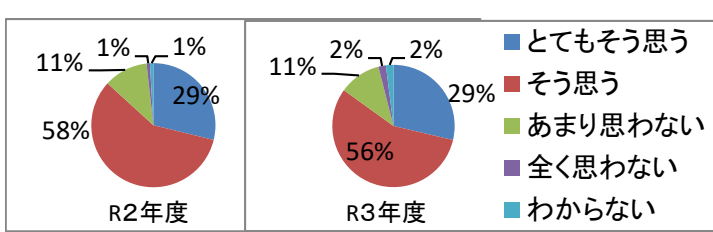
コロナ禍で、多くの行事等が変更や縮小を余儀なくされる状況ですが、肯定的評価が大きく下がることはありませんでした。本校では、1学期の始めには休み時間は担任も専科教員も外に出て子供と一緒に遊んだり、夏休み明けにはスタートアップ期間を設けてゆるやかにスタートしたりすることで、教職員が児童理解を深め、児童が安心して学校生活が送れるよう取り組んでいます。また、各学期に1回、児童全員と面談する取組を全てのクラスで行っています。これらの取組を通して、担任と児童の信頼関係を築くよう努めてきました。来年度も、子供たち一人一人が安心して笑顔で楽しく学校に通うことができるように継続していきます。

【質問2】 お子さんは意欲的に学習に取り組んでいますか。



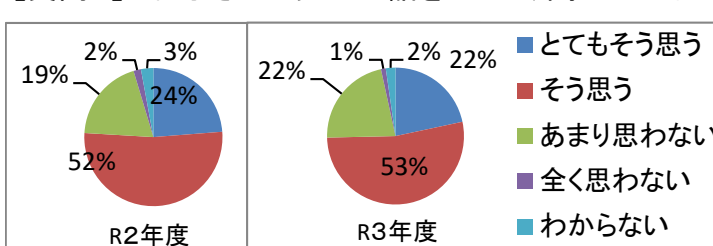
職員の研修として今年度は国語科を通して「自分の思いや考えを伝え合い、互いに高め合える児童の育成」を目指し、子供たちが意欲的に学習に取り組めるよう授業改善を行っています。また、学級経営の研修を行うことで、学習の基礎となる環境を整えることにも力を入れました。来年度は校内研修における学級経営的な視点をより強化し、児童が安心して学び合える学校にしておくための工夫を行っていきます。

【質問3】 お子さんは基礎的な学習内容を理解していますか。



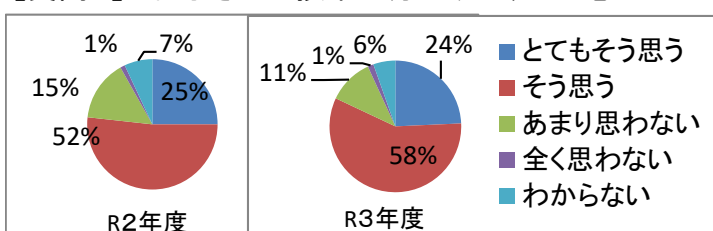
一人一人の学習状況やつまづきを把握し、基礎的な学習内容が確実に身につけられるよう日々の授業を工夫しています。年に2回、東京ベシックドリルを活用して習熟状況を診断し、補習に取り組んでいます。また、当該学年の学習内容の確実な習得を目指し、低学年は毎月、中・高学年は隔月で放課後にステップアップタイムを設定したり、学習イベントデーを設けて楽しみながら朝学習を行ったりしました。来年度も、基礎的な学習を楽しみながら身につけられる取組を継続していきます。

【質問4】 お子さんは先生の話をしっかり聞いていると思いますか。



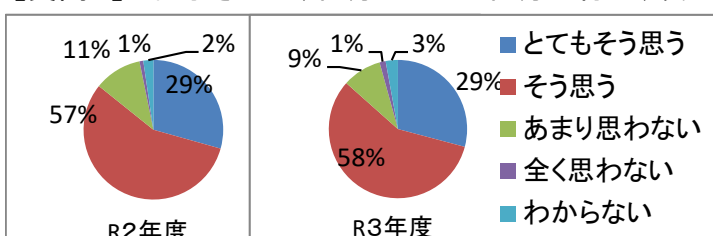
「目を見て」「だまって」「考えて」の頭文字をとった「め・だ・か」の聞き方で話を聞くよう指導をしています。特に今年度はオンライン授業の期間が長く、児童の聞く力が求められる場面が多かったように感じます。また、対面での授業に戻っても、数日は学校生活に慣れることに時間がかかる様子でした。現在どの学級も大きな乱れはなく、教師の話聞き、落ち着いて学習している様子が見られます。来年度も落ち着いて学習に取り組むことができるよう、「本町小学習スタンダード」をもとに、全学級で授業規律を整えていきます。

【質問5】 お子さんは授業が分かりやすいと感じていますか。



新学習指導要領に基づいて、児童の知識・技能が確実に身につくよう、思考力・判断力・表現力を生かして主体的に学べるよう、学習指導を工夫して参りました。また、今年度は5月に西東京市GIGAスクール構想に基づいて一人一台タブレットが貸与され、オンライン授業だけでなく、対面授業の中でもタブレットを効果的に用いて、児童が意欲的に取り組める分かりやすい学習指導の充実を図っています。来年度は、さらに有効な活用法を模索し、教員の研修も計画的に行ってまいります。

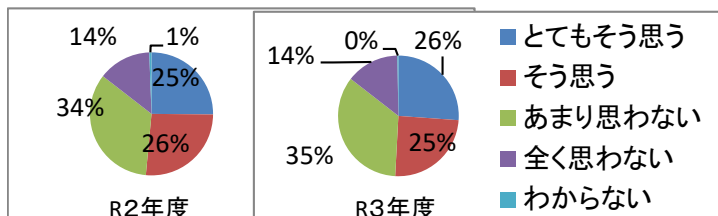
【質問6】 お子さんは、自分のことは自分で言い、友達と協力していると思いますか。



学校では、3つの『あ』（あいさつ・あんぜん・あとかたづけ）を全校共通の合言葉とし、どの児童も実践できるよう全教員で声をかけています。また、今年度行った「朝のあいさつ運動」も、全学年で実施することで自分からすすんであいさつを行ったり、友達と協力したりする機会となりました。特別の教科道徳でも「親切・思いやり」「生命の尊さ」など豊かな心の育成に向けて計画的に指導を進めています。

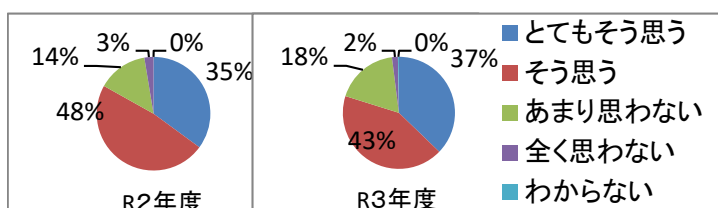
<御家庭へのアンケート>

【質問7】 お子さんは進んで本を読んでいますか。



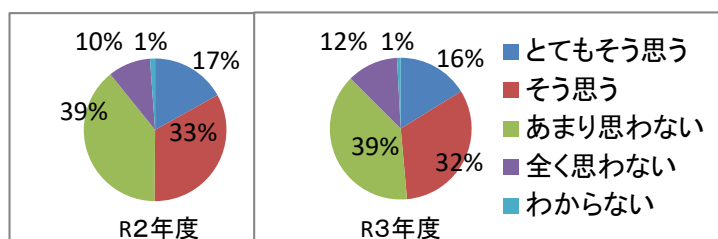
子供たちの読書量が少ないことは、本校の抱える課題です。子供たちが家で読書よりもテレビやゲームに時間を費やしていることが【質問9】の結果から伺えます。今年度は月に二回「家読」の宿題を設定し、家で読書をする時間を作るようにしたり、読書旬間に図書委員会児童が各クラスで読み聞かせを行ったり、図書バックを机の横にかけ、いつでも読書のできる環境を整えたりすることで、読書を促してきました。来年度は、今年度までの取組をよりよいものに見直し、さらなる改善を図っていきます。

【質問8】 お子さんは、家庭学習(宿題・自主学習等)に毎日取り組む習慣ができていますか。



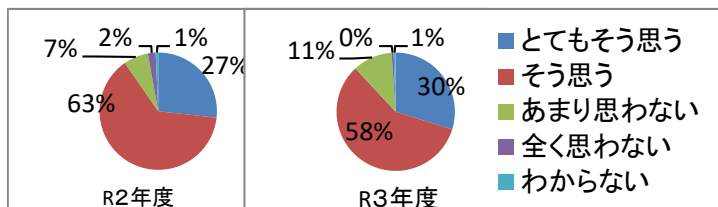
本校では、全学級で宿題を毎日出すことと、朝必ず提出する習慣を全学年共通して指導することとしています。3年生以上の学年では、自主学習を週1回提出することとし、取り組んでいます。保護者の方が、少しの時間でもお子さんの家庭学習を見てくださることが、子供たちの一番の励みとなり力を伸ばします。学校と家庭が連携し、家庭学習の習慣化を図っていききたいと思います。

【質問9】 お子さんは、テレビやゲーム、携帯電話などに依存することなく生活できていますか。



本町小学校の子供たちはテレビやゲーム、ネット等への依存傾向があることが、アンケート結果に顕著に表れています。今年度はGIGAスクール構想のスタートに伴い、タブレット端末を配布する際に、自宅でのルールを話し合っていました。学校では、「タブレット 5つのルール」や「クラスルームの書きこみ 3つのルール」を定め、指導してきました。しかし、テレビやゲーム等との根本的な関わり方の改善には、ご家庭の協力が不可欠です。お子さんの健やかな成長のため、学校と家庭で共通の課題意識をもち取り組んでいきたいと考えます。

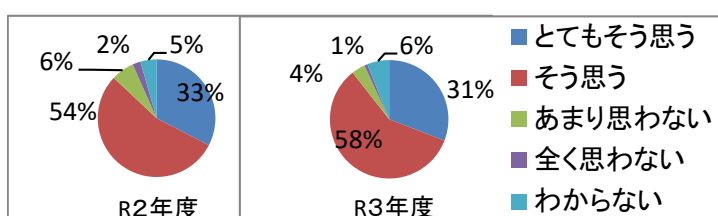
【質問10】 ご家庭では、お子さんのよいところを話題にしていますか。



道徳授業地区公開講座で、講師の先生からのお話にもありましたが、子供たちは日々、いろいろなことに努力し、挑戦して学校生活を送っています。「苦手なことでも投げ出さず座って取り組んでいる。」など、小さなことでもその努力を保護者に認められることで子供の自己肯定感が高まります。自己肯定感の高い子は、多少のことではくじけない、たくましい子に育っていきます。学校でも家庭でも、たくさんの温かい言葉をかけて自己肯定感を高めていきたいと考えます。ご協力をお願いいたします。

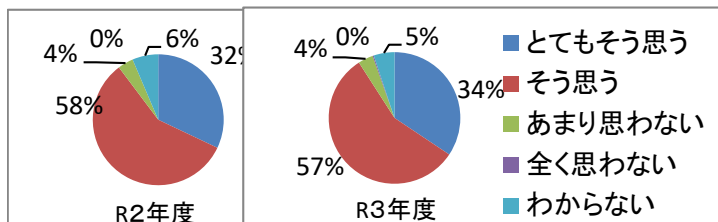
<学習指導・生活指導>

【質問11】 学校は、授業の工夫や補習など、学力向上に努めていると思われませんか。



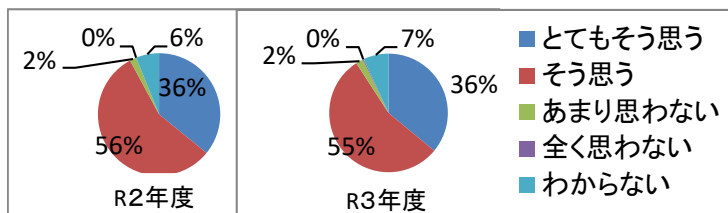
授業では、書画カメラの活用、ホワイトボードや付箋などの思考ツールの活用をしたり、ゲストティーチャーを呼び、専門性の高い学習の場を設けたりすることで、児童の主体性を引き出し、思考力・判断力・表現力の育成に努めてまいりました。また、3・4年生を対象に、基礎・基本の定着を目指して、児童一人に教員が一人マンツーマンでつく形で、年間20回学習する本町っ子タイムを設けました。各学年でステップアップタイムも設定して、学習内容の補完をしています。来年度も引き続き、一人一人にきめ細やかに指導ができ、学力向上が図れるよう授業改善に努めます。

【質問12】 学校は、礼儀やあいさつ、思いやりなど、心の教育に取り組んでいる。



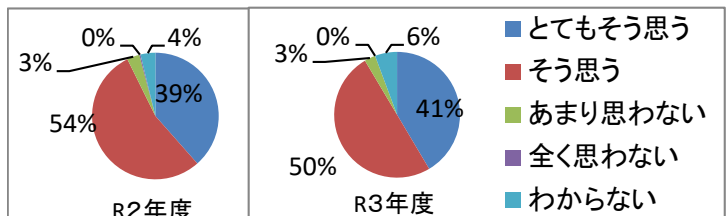
以前、本町小の子どもたちは、あいさつに課題があると地域の方や交通養護員の方々から聞くことがありました。そこで、本校ではあいさつの取組に力を入れています。挨拶は、自分からする側に立つと、返してもらえないことの悲しさが分かり、自分のあいさつを見直すよい機会にもなります。そこで、昨年度までは代表委員会と高学年が中心に行ってきた「朝のあいさつ運動」を、今年度は全学年で実施しました。自分の学年のあいさつ運動について全校に発信したり、よい挨拶にはカードを配ったりするなどの経験を積ませ、すすんで挨拶できる児童を育てています。ご家庭でも、あいさつの習慣化にご協力ください。

【質問13】 学校は、健康・安全に対する生活指導が適切に行われていますか。



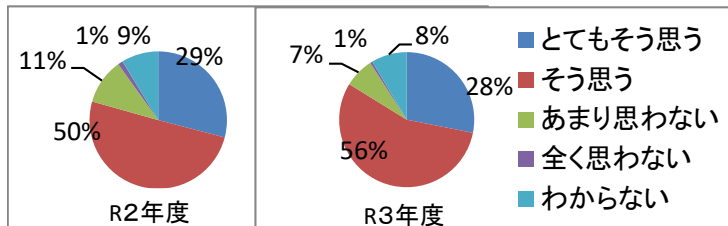
毎月1回安全指導朝会を実施して、安全に対する注意・喚起を促す指導をしています。また、毎学期1回、下校時に教員と一緒に通学路を歩き、危険がないか点検しています。学区内には大きな道路に面している通学路もあります。横断歩道を渡る際に、周囲をあまり確認せず、急いで走って渡る子どもの様子も見られています。全校児童への交通事故防止指導を続けていきます。地域の中でも、子供たちを見守っていただきますようお願いします。

【質問14】 学校は、震災や火災に備えての訓練を実践的に行っていますか。



毎月避難訓練を計画していますが、コロナウイルス感染拡大防止の対策から、全校が一同に会しての避難訓練は、時期をみて実施しました。避難訓練ではいつでもどこで被災するかわからない状況でも対応する力が身に付くよう、授業時間内だけでなく、休み時間や朝の時間などにも行っています。二次災害に備えて保谷中学校への避難訓練も実施し、万が一に備えています。6年生は、消防の協力を得て煙体験も行っています。

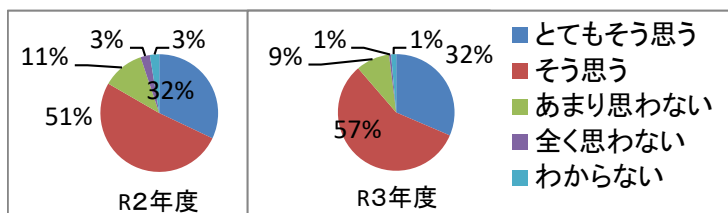
【質問15】 学校は、校舎内外の清掃や施設整理など、学習環境の整備がされていますか。



昭和54年開校ということもあり、校舎、教室、トイレや階段の各所で老朽化が進んでいます。廊下が暗いという設備的課題がありました。教育委員会への要望を行った結果、今年度夏休みに廊下照明が全てLEDに交換され、明るくなりました。また、今年度も「おやじの会」の皆様、児童の椅子の脚にはめるテニスボールを準備していただきました。これからも、市への改修依頼を継続すると共に、保護者の皆様の力をお借りしてできることを進めたり、教職員が掲示物や物品等の整理整頓や掃除を心がけていくことで、古くても整った環境づくりを目指してまいります。

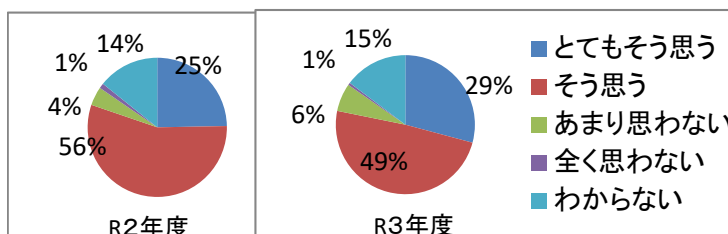
<教育方針>

【質問16】 学校からの情報伝達(学校だより・学年だより・保健だより・給食だより・図書館だより・ホームページ等)は、分かりやすいですか。



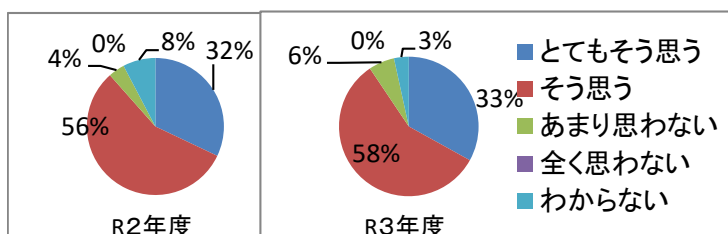
本校の学校経営方針については、学校便り、ホームページ、4月の保護者会等でもお伝えして参りました。9割近い保護者の皆様に肯定的な回答をいただきました。今年度はコロナ禍の中で少しでも学校教育を理解していただこうと考え、ほぼ毎日ホームページを更新し、どのような学校づくりを目指しどのような教育活動が行われているかお伝えして参りました。今後も継続していきますので是非ご覧いただき、本町小の教育へのご理解とご協同をお願いいたします。

【質問17】 学校は、道徳授業や学校生活全般において、いじめをなくすよう努力していると思われますか。



いじめアンケートによる聞き取りを毎学期1回行ったり、スクールカウンセラーによる全児童面接を行ったり、学期の始めに担任と児童との面談を行ったりすることで、いじめの早期発見に努めると共に、安心して登校できるよう配慮しています。来年度も引き続き一人一人の声を受け止める取組を行い、いじめを防ぎ、早期発見、早期対応に努めます。

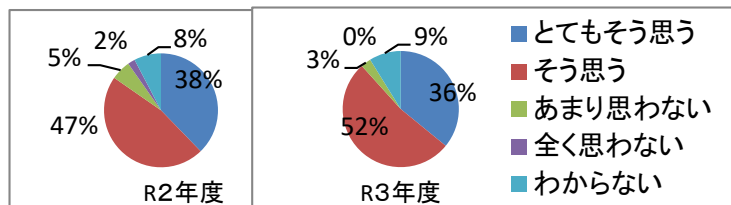
【質問18】 学校は、保護者会・個人面談・授業公開・学校行事等、保護者との交流の機会を設け、開かれた学校づくりに取り組んでいると思われますか。



昨年度に引き続き、今年度も感染症拡大防止のため、市内のどの学校も多く交流の機会が中止となりました。しかし、「4月保護者会」「5月・11月個人面談」「10月学校公開」「11月本町小スポーツの日」「12月持久走大会」など、可能な範囲で最大限の公開の機会を設けられたのではないかと考えております。また、「1月道徳授業地区公開講座」や「オンライン授業」で、学習の様子を普段より見ていただく機会も増えたかと思ひます。来年度も、開かれた学校の理念をもちながら、児童の安全も確保できる実施方法を模索してまいります。

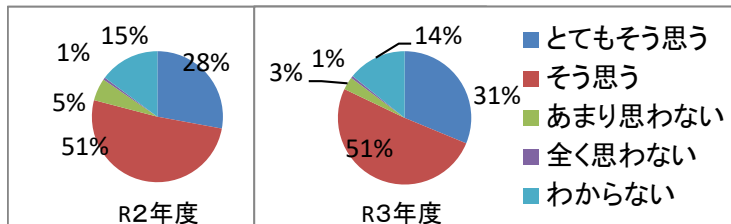
<地域・保護者との連携・開かれた学校づくり>

【質問19】 学校はお子さんや保護者が相談したときに、誠実に応じてくれていると思いますか。



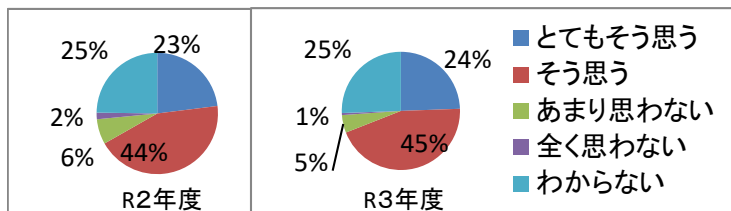
お子さんの健やかな成長について、学校と保護者の両者が協力し合うことで大きな教育効果が得られ、子どもの安心につながると考えます。今後も子どもたちや保護者の悩み・相談にしっかりと耳を傾け、積極的に応じる学校を目指していることを保護者会や学校便りを通して広報し、全教員で実践してまいります。

【質問20】 学校は保護者や地域の皆様の声にこたえようとしていますか。



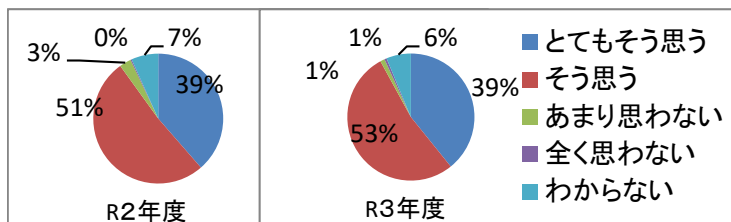
肯定的な評価が多く、「全く思わない」というご意見がほぼありませんでした。ご提出いただいたアンケートは全てに目を通しています。今年度も、コロナ禍ということで様々な活動に制限がかかり中止となることも多くありました。来年度も状況は見通せませんが、保護者・地域・学校が連携しながら学校を創っていくことを大事にしたいと考えております。この学校評価の結果も来年度の計画に生かしてまいります。

【質問21】 学校は閉庁日の設定や留守番電話の活用により、働き方改革を進めていると思いますか。



夏季休業中に閉庁日を1週間設けて休暇を取得しやすくなり、18時半以降は留守番電話にして残った業務に集中できるようにしたりしています。適切な休暇取得や、過度な残業とならないようにすることは、細やかに児童の様子を捉え指導に生かしたり配慮をしたりすることに繋がります。今年度の取組を継続しつつ、来年度も働き方改革を進めてまいります。

【質問22】 学校の電話や訪問時における対応は適切ですか。



保護者の方や本校に来校された方みなさんが安心できたり本町小を信頼したりすることにつながるよう、電話や訪問時における対応については「先 挨拶」「先 笑顔」をモットーに、全教職員で取り組んでいくよう、来年度はより一層心掛けてまいります。子供たちの手本となる、率先垂範で行動する教職員集団を目指します。

2学期にご依頼しました「学校教育に関するアンケート」の回収率は、ほぼ100%でした。ご協力に深く感謝いたします。アンケートの自由記述に書かれた内容は全教職員で共有しています。成果や課題の原因を分析し、来年度の教育活動の充実と向上に努めてまいります。下記に学校の基本的な考え方をまとめましたので、ご覧ください。

■昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴って休校となっていましたが、今年度はGIGAスクール構想によるタブレットの全員支給があり、オンライン授業期間が約2か月間実施されました。教職員も初めての試みが多く、研修を適宜行うなどしながら準備を進め、オンラインに臨みました。子供たちも当初慣れないタブレットの操作にとまどっていましたが、今では当たり前前にオンライン授業に参加できています。改めて子供たちのもつ力に驚かされました。保護者の皆様におかれましても、オンライン授業の実施に伴い、ご家庭の内外で様々な調整を要され、その対応にご苦労されたことと思います。子供たちの学習の機会を与えてくださったことに感謝いたします。

■特に<学習指導・生活指導>と<教育方針>の項目の評価が上がり、多くの項目で90%前後の高い評価をいただきました。これからも指導力向上と情報提供に努めてまいります。

■消毒液を配備してほしいというご意見もいただきました。現在、各教室に手指消毒液と消毒用のウェットティッシュを置き、各学年のトイレ前にも消毒液を配備し、給食前など必要な時に使えるようにしています。

■校舎の老朽化、特にトイレ周辺の環境について、複数ご意見をいただきました。本校としましては、西東京市に施設・設備の改修依頼をあげております。引き続き教育委員会と相談して、修繕や改修に取り組むと同時に、古くても快適な環境を目指し校内でも整備してまいります。

■10月に行った分散での学校公開については、コロナ禍でも子供の学校での様子が見られて良かったというご意見をいただきました。学校としましては、今年度は子供たちの頑張る様子を見ていただく機会がなかなか設定できなかったため、平日の開催にはなってしまいましたが、保護者の皆様に授業を見ていただけるよう工夫をいたしました。来年度も、新型コロナウイルス感染症の動向をみながら、実施方法について検討していきたいと考えております。

■アンケート調査結果から、本校は全体として、比較的読書量が少なく、テレビやゲームに費やす時間が多い傾向が見られます。また、やりすぎないように調整できている子とそうでない子の二極化が見られます。学校と家庭が連携して、小学生時代を大切に過ごさせたいと思います。

■新型コロナウイルス感染症への対策や、コロナ禍での行事、オンライン授業について、たくさんの感謝の言葉もいただきました。今後も保護者の皆様の協力をいただきながら、子供たちの笑顔あふれる、安心して過ごせるよりよい学校を目指してまいります。近年の教育課題に対しては、学校・家庭・地域がそれぞれ当事者意識をもち、同じ方に向けて協力して取り組む必要性を感じます。これからもご協同・ご協働のほど、よろしくお願いいたします。

